opusdei.org

## 属人区長のメッセー ジ(2019年4月9 日)

「聖週間を前に、フェルナンド・オカリス神父は、十字架のイエスを見つめ、一人ひとりが神のみ旨に自己を差し出すよう呼びかけます。|

2019/04/09

愛するみなさんへ。イエスが私の子 どもたちを守ってくださいますよう に。 間近に迫った聖金曜日には、十字架に釘付けられたキリストを前に、大きな贖いの愛を観想します。その愛によって、キリストは全面的に自己を差し出し、御父のみ旨に従われたのです。

イエスに従い、イエスに同化する私 たちも、個人的な状況の中で、使徒 職の使命という挑戦と要求に対し て、限りなく自己を差し出します。 日々の歩みにおいて、私たちによら かけ展望を開くよう招くキリスで かけ展望を開くよう招でいるのです。 聖パウロのように、「すべての 人に対してすべてのものになり」 (1コリント9・22) たいのです。

自己を差し出すということに関して、グアダルーペの列福式に先立つ今、彼女が神のご計画の中に自己を委ねたことで、その人生がどれほど大きくなったかを考えることができるでしょう。グアダルーペは神に自

己を委ね、喜んで自ら進んでどこへでも行き、どんな仕事でも引き受けました。主は彼女の能力と才能を強めてくださり、人格を磨き人生の実りを豊かに与えてくださいました。

私たちが耳を傾け、仕え、助ける心構えを持ち、また、他者の助けを望れるいまが、他者の主がいるいでは、神らいではないならば、かわらはないならがである。である。であるもの人さるという神ら遊びない。では、1974年2月14日、5番)ないでである。それは、常に、すべてとなのです。

愛情を込めて祝福を送ります。

あなた方のパドレ

フェルナンド

ローム	2019年4月9日

## PDF式ダウンロード

pdf | から自動的に生成されるドキュメント https://opusdei.org/ja-jp/article/zokujinkucho-messeji-2019-4/(2025/12/13)